



### 『空き缶から小さな環境学習の場へ』

小学生の環境学習に少しでもお役立てできれば・・・との考えからスタートした空き缶基金活動も早5年半が経過しました。NPO法人格を取得してからは、丸2年。

子どもさんたちが環境について学ぶ姿勢、また実際に行動している姿を見て、「親世代が子どもの背中を見て学ぶべき時代だ」と感じています。

昨年、提供活動の一環として、大きな一歩を踏み出すことができました。

『空き缶基金』より提供したカーネーションの苗500本を、学校さんのご配慮で中庭・運動場横に小学校の生徒さんと一緒に植え込みました。

運動会シーズンに、カーネーションが美しく咲くよう、サポートしていきたいと思えます。



10年、20年と色あせず、小学生にとって有意義な体験学習の場を提供していきたい、さらに子ども達が地球環境に配慮するやさしい大人へと成長してもらえたら、と願っています。

NPO法人空き缶基金

理事

深津

伸哉

### 葛原第一長寿会(小倉南区)

『2008年 年間回収量7320kg』  
全232団体の頂点、年間回収量第1位を獲得しました！

82歳の会長を筆頭に、約800名からなる会員が空き缶回収をしています。毎週水曜日になると参加している地域を回って空き缶を回収し、拠点となっている葛原市民センターで手分けしてアルミとスチールに分別します。暑い日も寒い日も、雨の日にはかっぱを着て約2時間の作業です。最近では分別にも慣れ、「缶を持っただけで区別出来る！」という頼もしい声も。



回収拠点  
(葛原市民センター)



空き缶分別風景

缶回収で得た資金は、長寿会の総会や恒例の旅行費用にあてられています。その他に今年には地域の公園に植える花苗や、市民センターで実施している生涯学習「生き生き葛原っ子クラブ」の子供たちのクリスマス会に、一部資金提供しました。

### 新たな参加団体

有限会社 ポラリス芦屋店 (遠賀郡)

以上 累計：232団体

### 先月の空き缶回収量

# 22749キログラム



「ご協力ありがとうございました！」

### 先月のベスト3

赤崎小学校(若松区)【700kg】

葛原第一長寿会(小倉南区)【710kg】

大谷まちづくり協議会(八幡東区)【320kg】



小倉コロナワールドの塚田です。

「地域社会の余暇に貢献すること」を経営理念として、2008年4月に温泉・シネマ・ボーリングなどを有する娯楽施設を小倉北区にオープンしました。

ある知人の紹介で『空き缶基金』の存在と活動状況を知り、エゴ活動の必要性・重要性について考えさせられました。そこで、毎日笑顔の家族連れで賑わう当施設で飲まれた空き缶を『空き缶基金』へ提供することになりました。すでに活動を始めて半年になります。

今後も積極的に『基金』の活動に参画し、将来の一翼を担う子どもたちの手助けになるよう、社員一丸となって頑張っていきます。

小倉コロナワールド

総務部長 塚田 健市



### 新たな参加団体

古前校区まちづくり協議会

(若松区)

以上 累計：2333団体

### 先月の空き缶回収量



# 220555キログラム

「協力ありがとうございます！」

### 先月のベスト3



葛原第一長寿会(小倉南区)【6100kg】

赤崎小学校(若松区)【4500kg】

大谷まちづくり協議会(戸畑区)【4000kg】

#### 祝町まちづくり協議会(八幡東区)

高杯山頂にある天疫(てんやく)神社の横にある市民センターです。醐天皇時代に疫病を収めたことで天疫神社と呼ばれるようになり、推定年齢400年の楠の大樹が茂る森があります。



回収拠点  
(祝町市民センター)



缶ボックス  
設置風景

市民センターではリサイクルや環境問題の関心が高く、空き缶のほか使用済みのバスカードや切手、ベルマーク・ボトルキャップなど幅広く回収しています。月に一度発行している「センターだより」で空き缶回収の協力を呼びかけ、最近少しずつですが回収量も増えてきました。

#### 南小倉校区まちづくり協議会(小倉北区)

市民センター・児童館・保育所が同じ敷地内にある全国でも珍しい複合施設です。

校区内の山田緑地の奥にある、小熊野(おくまの)山を水源とする川が施設のそばを流れていることから、『熊』をセンターのシンボルマークとしています。ほたる祭りも催される小熊野川の清掃は、年に4回地域の方と一緒にを行っています。



回収拠点  
(南小倉市民センター)



缶ボックス設置風景  
&シンボルマーク

センターでは、子供達が色々な年齢の方と触れ合える「居場所」を目指し、コンサートや料理教室など様々な体験活動を企画・運営しています。



富士ゼロックス北九州株の高宮です。

当社は、複合機メーカーである富士ゼロックス株式会社で、2001年にISO14001の認証を取得するとともに、「環境配慮型商品の提供」「グリーン購入推進」「リサイクル推進による廃棄物の削減」などの環境活動に取り組んでいます。

また、社内に『端数倶楽部』という名前の社員有志によるボランティアサークルを作り、会社と社員が協力した形での社会貢献活動も進めてきました。私たちは、環境活動も社会貢献活動も、まずは「自分が無理なくできること」から始めて、それに「継続して取り組んでいくこと」が大切だと思っています。

『空き缶基金』は、そうした私たちの「身の丈に合った活動」の一つとして2年前から取り組み始めました。成果は小さいかもしれませんが、今後とも継続して着実に積み重ねていきたいと思います。

富士ゼロックス北九州株式会社  
管理部  
事計・マネジメント推進室長  
高宮 晃一



### 先月の空き缶回収量

# 21064キログラム



「協力ありがとうございました！」

### 先月のベスト3

- あやめが丘小学校 (戸畑区) 【540kg】
- 葛原第一長寿会 (小倉南区) 【450kg】
- 赤崎小学校 (若松区) 【433kg】

### 北九州市立松ヶ江幼稚園 (門司区)

道路端に散らばる空き缶や紙くず。きれいな町にするための「み捨」と言いつつ「捨てない教育」が必要だと思います。合わせてリサイクルに  
なり環境教育にもつながるということで、空き缶などの資源回収を行っています。



回収拠点  
(松ヶ江幼稚園)



缶&プルタブ&キャップ  
回収BOX設置風景

公立幼稚園は親子登降園なので、保護者の方が送迎の際に空き缶や新聞紙を持ち寄ります。昨年3月からは、子どもたちにも手軽に持ち運びができ、社会貢献にもつながるペットボトルのキャップやプルタブなども回収しています。

### 古前校区若松区民協議会 (若松区)

約1900世帯で構成され、北九州市内でも高齢化・少子化が進んでいる地域の一つです。市民センターでは『高齢者と子ども達の交流拠点』を目指し、昨年はブランドゴルフやもちつき大会・しめ縄作りなど、年間を通して色々なイベントを行いました。今年3月には『歩き缶大会』(ウォーキング)を予定しています。



回収拠点  
(古前市民センター)



缶ボックス  
設置風景

センターで行われているクラブや市民講座を受講する際に、利用者が持ち寄ってリサイクルしている古紙やトナーに空き缶も加わりました。



はじめまして

エス・シー・エル棟の室谷です。

Safety & Comfortable Life(安全で快適な生活を提供する会社を目指して)の頭文字を取ったものが社名です。マンション管理組合さんの仕事や、不動産の賃貸・売買などを行っており、管理しているマンションや事務所の空き缶を『空き缶基金』へ寄付しています。

去年の秋、家によってきた猫のマル(♀)、普段はドライフードばかり食べていますが、たまぁにご馳走で缶詰めを食べており、彼も微力ながら『空き缶基金』に貢献していますので、これからもマルと一緒に空き缶リサイクルに貢献していきたいと思えます。



エス・シー・エル株式会社  
建物管理部  
室谷 雅彦

### 先月の空き缶回収量

# 23291キログラム



「協力ありがとうございました！」

### 先月のベスト3

- 葛原第一長寿会(小倉南区)【6200kg】
- 赤崎小学校(若松区)【5200kg】
- 本城団地 長寿会(八幡西区)【3100kg】

#### 大里南まちづくり協議会(門司区)

戸の上山麓に広がる住宅街を中心とし、特に若い世代が多く住む新しいマンションもあり、区内で最も転入・転出の多い地区でもあります。



回収拠点  
(大里南市民センター)



畑  
(敷地内)

世代を問わず『皆が来やすい市民センター』を目指して、様々な取組みをしています。

毎年、子供さん達と一緒に、敷地内の畑で野菜・穀物(3年間で10種類)を育て、料理作りにまで繋げています。また、センターに足を運ぶ子供さんへのお茶代や植栽用の花苗代のために、缶や古紙で得られる支援金を活用しています。

#### 古前校区まちづくり協議会(若松区)

約1900世帯で構成され、北九州市内でも高齢化・少子化が進んでいる地域の一つです。

市民センターでは『高齢者と子ども達の交流拠点』を目指し、昨年はブランドゴルフやもちつき大会・しめ縄作りなど、年間を通して色々なイベントを行いました。3月には、『歩きング大会』(ウォーキング)を開催し、無事に終了しました。



回収拠点  
(古前市民センター)



缶ボックス  
設置風景

センターで行われているクラブや市民講座を受講する際に、利用者が持ち寄ってリサイクルしている古紙やトナーに空き缶も加わりました。



はじめまして

(株)スターフライヤーの山本です。

スターフライヤーは、北九州市を拠点とし北九州ー羽田空港(1日8便)、羽田空港ー関西空港(1日22便)を就航している航空会社です。「感動のある航空会社」を事業理念に掲げ、常に新しいことに挑戦し続けています。

弊社では、約1年前から『空き缶基金』の活動に賛同し、環境活動の一環として社内でアルミ缶とスチール缶の回収を行っています。また、3月からは、PETキャップを「ポリオワクチン」に換えるエコキャップキャンペーンに参加しています。

これからも社内において、エコ活動を積極的にを行い、社会貢献に役立てていきたいと思っております。

(株)スターフライヤー

営業本部 営業部

山本 理史  
(写真中央)



### 新たな参加団体

障害者支援サービス いろは(小倉南区)  
北九州市立蛸田保育所(小倉南区)  
錦町まちづくり協議会(門司区)

以上 累計：2388団体

### 先月の空き缶回収量

# 24450キログラム

協力ありがとうございました！

### 先月のベスト3

葛原第一長寿会(小倉南区)【6600kg】  
赤崎小学校(若松区)【470kg】  
大谷まちづくり協議会(八幡東区)【410kg】

### 高須まちづくり協議会(若松区)

新興住宅地である高須地区には、約4,000世帯の住民が暮らしています。最近では、協議会主催の行事『あるきingたかす』を開催。参加者129名(内、こどもさん23名)が、3kmと7kmのコースに分かれ、さくら咲く高須の春をみんまで歩きました。

たがいに笑顔で  
かわすあいさつ  
すみよい高須

まちづくりスローガン



あるきingたかす

成人の日に独特な行事が1つ。主催の成人式を終えた後、地元中学校で成人祭を別開催。成人者の親御さん(親の会)が実行委員となり、諸関係者合わせ200名で成人者を祝っています。

### ～お願い～



現在、回収ルートの見直しを行なっております。何かとご迷惑お掛け致しますが、何卒ご協力頂けますようお願い申し上げます。  
変更が困難な場合は、お気軽にご連絡ください。

### ～お知らせ～

「花の畑」・「フリンター」の応募めがけの回収がありました。ご希望はなるべく、なるべく限の力いたします。5月中旬に回答をお入れします。

※なお、選考から漏れる場合がございますが、ご理解の程お願いいたします。





私と空き缶回収運動とのかかわりは6年目を迎えます。平成15年11月、東京で開かれた社会科全国大会の折、新日鐵本社でスチール缶リサイクル協会の方とお会いしたのが、この運動にかかわるようになったきっかけでした。

空き缶を見たときに、「捨てるのはもったいない」という感情を育てること、それが環境教育の出発点です。「捨てればゴミ・活かせば資源」という資源循環の考えを実感させるのに、空き缶は絶好の教材です。

ここもたちが家庭や学校・地域の活動で出た空き缶を回収し、リサイクルの輪に乗せることは、環境を守る考え方や資源の有効活用を願う心の輪に参加することではないかと考えております。

この運動は、環境保護への小さな一歩ですが、市内の全てのごもたちが、この運動に参加し、環境首都宣言都市の市民にふさわしい行動ができる子どもへと育つことを願っています。

北九州市立

あやめが丘小学校

校長 安部 大真



### 新たな参加団体

社会福祉法人 まどか (若松区)

以上 累計：239団体

### 先月の空き缶回収量



# 19450キログラム

「協力ありがとうございました！」

### 先月のベスト3

■ 菅原第一長寿会 (小倉南区) 【5000kg】

■ 赤崎小学校 (若松区) 【4200kg】

■ 大谷まちづくり協議会 (戸畑区) 【3500kg】

#### 青葉まちづくり協議会 (若松区)

「五平太ばやし」。若松区の港側では伝統芸能として有名ですが、新興住宅地である青葉地区でも伝承に取り組み、子供さん達が練習を重ね、若松みなと祭りに毎年参加しています。



五平太だっこ (練習風景)



沿道に植えられた花 (市民センター前)

まち協の拠点である市民センターでは、青葉小の生徒さん(理科栽培委員会)や、まち美化の部会の方々が、四季折々の花を育てており、缶支援金の一部を花代に充てています。また、地区「ミ」拾い運動(月2回)との相乗効果で、きれいで安全な町並みを形成しています。

#### 大谷まちづくり協議会 (戸畑区)

緑豊かな山あいの斜面に、住宅地が立ち並んでいるのが特徴です。7月第4週、戸畑区の一大行事「戸畑山笠」では、戸畑区内の4つの山笠が浅生公園に集結。競演会を市民に披露しています。大谷地区は、菅原神社を拠点とした『天』の山笠として参加(夜はちようちん山笠)。



菅原神社 (山車 保管)



とばたあやめ (とばたあやめ公園内)

この地域でしか咲かない「とばたあやめ」。花の咲く期間が1週間程度と短く、あやめまつりの際には、その希少な花を観賞するために、市外からも来場(来場者600人)されます。



本校の空き缶回収運動は、平成16年、新日鐵八幡製鐵所を見学後、鉄のリサイクルについて学んだ児童が、「自分達でできる取り組みを」と全校生徒に呼びかけたことがきっかけとなり始まりました。

平成20年度に文部科学大臣賞を受賞した記念に『花いっぱいプラン』を立ち上げました。これは、少しでも子供たちの学ぶ環境を美化し、豊かな心を育てたいという想いからでした。

この趣旨にご賛同いただいた空き缶基金殿から、花の苗を寄贈戴き、また、全国表彰の賞金で園芸用具を購入しました。今では、花レンジャーなる子供たちが毎朝、挨拶と回収運動を行なっています。個人回収カードに張るシールが子供たちに喜ばれ、回収量も日増しに増えてきています。

リサイクルや園芸活動を通して、子供達の環境に対する関心は日増しに高まってきており、これを機に、学校の芝生化や太陽光発電を推進し、環境首都の地域リーダー校となるべく、努力していきたいと思っています。

北九州市立中原小学校  
校長 村上 保男



### 新たな参加団体 富士組 (小倉南区)

以上 累計：240団体

### 先月の空き缶回収量



# 25105キログラム

「協力ありがとうございました！」

### 先月のベスト3

■ 葛原第一長寿会 (小倉南区) 【6000kg】

■ 筒井まちづくり協議会 (戸畑区) 【4400kg】

■ 赤崎小学校 (若松区) 【4300kg】

深町小学校 (若松区)  
平成20年4月1日より新校舎へ移転。高塔山から見て北東の丘陵地、星陵中学校の跡地に建てられています。PTA協力の下、366人の全校生徒さんが空き缶回収に取り組んでいます。



新校舎



校内で栽培中 (アジサイ)

地域との連携では、アジサイの里山活動(4年生)に取り組み、毎年11月、育ったアジサイを高塔山に移植。他に、どんぐりの栽培(1~2年生)や、響灘地区「緑の回廊」(2~3年生)に参加し、地域に根ざした緑化活動を行なっています。

### 西戸畑まちづくり協議会 (戸畑区)

近年、戸畑駅北口の新しいビル建設などで世帯数が増加傾向で、2098世帯の方々が暮らす校区です。ここで生まれ育った人々も多く、協議会を中心にまとまりのある人情の町を形成しています。本町公園の清掃活動(10日に1回)や様々な廃品回収、地域パトロールを行い、地域住民の方々に和気あいあいと取り組んでいます。



本町公園 治道



恵美須神社 (戸畑祇園 4大山笠の1つ西大山笠)

毎年8月限定、本町公園で早朝フジオ体操を実施。子供からお年寄りまで参加し、最終日には、市民センターにて表彰式を行います。



私が本活動を知ったのは、平成15年に江川小学校(若松区)に勤務をしていた時、当時の若松区小P連の三木会長様の説明を受けてのことでした。空き缶分別の技術の進歩で、スチール缶とアルミ缶が一緒でよいこと、PTA活動に支援が頂けること、空き缶は備え付けの袋に入れればよいこと等一石二鳥、三鳥の利点があり、早速学校で取り組みを始めました。

平成19年に深町小学校に転動しましたが、同校ではすでに本活動に取り組んでおり、区内にも浸透していることを感じました。また、嬉しいことに、活動が認められ、空き缶通信で紹介されたり、スチール缶リサイクル協会殿から感謝状を頂いたりしました。

環境保全は「シンク グローバリー アクトローカー」と言われています。小さな事柄の積み重ねを大切にし、こども達や保護者、地域の方々と連携し、ささやかですが環境首都宣言都市の推進に寄与したいと思っています。

北九州市立深町小学校  
校長 小南 義賢



北九州市立城野小学校(小倉南区)

以上 累計：241団体

### 先月の空き缶回収量



## 27372キログラム

「協力ありがとうございます!」

### 先月のベスト3



葛原第一長寿会(小倉南区)【640kg】

大谷まちづくり協議会(戸畑区)【400kg】

あやめが丘小学校(戸畑区)【400kg】

### 修多羅校区まちづくり協議会(若松区)

修多羅校区は、若松を象徴する「高塔山」と「洞海湾」に囲まれた場所にあります。

月に2回、防犯パトロールを兼ね、道路沿いを歩きながらゴミを拾う清掃活動を行っています。

活動が評価され、「H20年度環境にやさしい若松まちづくり表彰」の『地域功労賞』を受賞。



そうめん流し



地域功労賞 賞状

校区行事として、毎年7月、「そうめん流し」を行っています。流す筒部分は、竹を割の自作。地域住民の方々がそうめんを持ち寄り、子供さんたちと総勢100名で食べて楽しんでいきます。

### 平野まちづくり協議会(八幡東区)

花尾山や血倉山といった北九州市を代表する山が近くにあり、多くの史跡が残る地域です。

平野地区は、八幡大空襲で被害の一番大きかった地区であります。今なお体験者の方が多く、戦争の怖さを「語り部(かたりべ)」として、市内小学校に出向き講演活動を行っています。



センター外観  
(H21年3月  
改築工事完了/移転)



平野大学の参加者  
(博多座にて)

「平野大学」。近郊に住む年配の方対象の市民講座です。今年で24年目。屋内講座では人権や介護等を学び、屋外講座では歴史散策や観劇等を皆で楽しむことを目的に開催しています。



本校では、PTA活動と一体となり、環境教育に取り組んでいます。

国語科や総合的な学習の時間を通して、日頃実践していることや調べたことを、学校内だけでなく、地域の方々にも発信しようとして、学習発表会という形で劇に挑戦しました。

その活動が認められ、昨年度、北九州市より「3R活動推進賞」の表彰を受けました。

その活動の中の1つである『R』(リサイクル)。「また使えるようにする」活動として、空き缶を集めています。この活動も、今年で5年目になります。昇降口に置かれた「空き缶入れ」のかごには、子どもたちのみならず、地域の方々からも、家庭でたまった空き缶を持ってきて頂いています。

かご一杯にたまった空き缶は、KARSの方々が回収し、北九州エコタウンでリサイクルされます。

環境首都「北九州」の名に恥じないよう、「リサイクル」環境の視点で、槻田地域の皆さんと一緒に今後も頑張っていきたいと思います。

北九州市立槻田小学校

校長 門司 明



### 新たな参加団体

ホットポイント(小倉北区)

以上 累計：242団体

### 先月の空き缶回収量



## 25976キログラム

「協力ありがとうございます!」

### 先月のベスト3

葛原第一長寿会(小倉南区)【6200kg】

北九州市立赤崎小学校(若松区)【4800kg】

大谷まちづくり協議会(戸畑区)【3600kg】

北九州市立八幡小学校(八幡東区) 

『自分がよければいい』ではなく、この町に住む人たちが一緒によくなること。取り組むテーマが学年毎に別々のようでも、実は繋がりがあがる事、さらに地域の方々と一緒に持つたれつ」の関係がある事を、取組みを通じて学んでいます。



花いっぱい運動/  
3年生(イブ・ブザ)



総合学習/5年生  
(年長者との交流)

今年で4年目となる「地球を守る3R活動」。低学年では、①植樹活動、②資源回収(社会科)で得た支援金で車椅子を購入し提供(国語科・道徳科)。高学年では、住みよい町づくりを目指し、道路の段差や横断歩道の改善等を提案しています。

### 梁町校区まちづくり協議会(若松区)

まちづくりの協議会(センター)では、『全てにやさしさを』を理念に掲げ、「梁町まちづくりの憲章」の下、様々な行事を実施し地域交流を深めています。その1つに、小学校の夏休みを利用した地元工場の見学があり、今年は小学生20名が参加。



工場見学  
(植田製作所にて)



夏祭り  
(おたのしみ抽選会)

地域行事を毎月1回開催していますが、一番大掛かりなのは夏祭りです。夕方からの開催であるにも関わらず、来客者数は2000名。出展や出店などのバザー部門は、協議会の婦人会を主体に頑張っています。



8月18日、ウエル戸畑にて『環境首都！子どもサミット』が開催されました。当NPOは、会場にてリサイクル品及びパネル展示をさせていただきました。開催当日、窓口をされていた環境教育担当である福島指導主事へ、小学校や市の取組みについてインタビューを行い、現状と想いを述べていただきました。

『各学校には、日頃より、学校の特色を活かした環境教育を推進していただき感謝いたします。』

さて、本市が、「環境首都」を目指す中、「環境モデル都市」に選定されたことを受け、各学校では、低炭素社会づくりを支える人材の育成等の環境教育がますます重要になっていきます。とりわけ、CO2の削減に主体的に取り組む実践力を育成するためには、子ども達が身近な実践活動を進めていくことが大切です。空き缶の回収活動は、子ども達にとって身近な実践活動であり、「捨てればゴミ・活かせば資源」という資源循環の考えや主体的に行動する実践力を身に付ける事ができると考えています。今後も、保護者や地域、NPO空き缶基金との連携・協力により、空き缶回収活動が推進されることを期待します。』

## 新たな参加団体

九州国際大学付属高等学校（八幡東区）  
浅川まちづくり協議会（八幡西区）

以上 累計：244団体

## 先月の空き缶回収量



# 25189キログラム

「協力ありがとうございます！」

## 先月のベスト3

- 葛原第一長寿会（小倉南区）【6100kg】
- 大谷まちづくり協議会（戸畑区）【4200kg】
- 北九州市立赤崎小学校（若松区）【3600kg】

## 星が丘校区まちづくり協議会（八幡西区）

「人を中心として、美・遊・快・楽」をまちづくりのコンセプトに、人々の永住の地として、また、生まれ育つ新しい世代の『ふるさと』として、次世紀を見据えた街づくりを目指しています。



七夕祭り  
(3,000名分の願い)



米のすくい取り

大人も子供も楽しめる地域参加型イベントとして、毎年夏場に七夕祭りを開催。センター内のフェンスに20本の竹を立て付け、校区内3千名の方が願いを書いた短冊を笹にくくり付けます。米のすくい取りや卵のつかみ取りなど、子供も気軽に参加できる企画もあって賑わいます。

## お知らせ

『NPO法人空き缶基金』専用のホームページ（以下、HP）を11月1日から開設いたします。

## お願い

HP開設にあたり、アンケートがございます。同封のアンケート用紙にご記入後、FAX返信（093・752・5055）をお願いいたします。ご記入内容は左記の4項目です。

- ① 団体登録名称の公開
- ② 団体様HPへのリンク
- ③ 団体様の現在の窓口等
- ④ HP閲覧に要する紙資源削減案



※ 不明の点は、093・752・5015  
NPO空き缶基金まで。



八幡小学校は、創立百三十一年の長い歴史と伝統のある学校です。

毎年五月三十日の全校児童による「ごみゼロ」運動では、ごみを捨てることも大切ですが、ごみを捨ててはいけないことや、物を大切にすることなどを実感できるように取り組んでいます。

総合学習では、「環境を守る学習」について、学年別に代表的な活動を紹介しします。

三年生は、花を見てもっと元気になって欲しい、地域の人たちに喜んでもらいたい、という願いを込めて、地域の公共施設に花を植え、育てています。

四年生は、「地球を守る3R大作戦」をテーマに、空き缶やプルタブを回収し、得られた収益金で椅子を購入し、ボランティアセンターに寄贈しています。資源の回収の積み重ねから、目標を達成する喜びや、地域に役立つ喜びなどを実感することができています。

高学年では、もっと住みよい町にするために、ハード面だけでなくソフト面にも視点を当て、地域の方と共に調査活動を行い、地域に提案しています。

今後も、人や自然にやさしい生活力や行動力を育てることができるよう、身近なことを題材に、家庭や地域との連携を図りながら、学校全体で環境教育を充実させていきたいと考えています。



地域の方と一緒に活動

(文章) 北九州市立八幡小学校

校長 福重 秀人

## 先月の空き缶回収量



# 27609キログラム

「協力ありがとうございました！」

## 先月のベスト3

👑 葛原第一長寿会 (小倉南区) 【7200】

北九州市立赤崎小学校 (若松区) 【3000】

中島校区まちづくり協議会 (小倉北区) 【3000】

## 中尾校区まちづくり協議会 (八幡西区)

高齢化の進んでいる(高齢化率30%超)中尾校区では、3世代が交流し「住んで良かったこのまちに」と思えるまちづくりを目指しています。昨年、地域住民が集う市民センターの大規模改修工事が完了。校区内の金山川沿いに植えられた桜並木にちなみ、建屋をピンク色に統一。



建屋入り口周辺 (ピンクの建屋)



タマゴのつかみ取り

最大の行事は、10月開催の「中尾校区ふれあいセンターまつり」です。市民センターから協議会主催に変わって、今年で2回目。各クラブ等の成果発表やバザーを3日間かけて行っています。

## お知らせ

ホームページ開設に関するアンケートの返信ありがとうございました。

まだ受け付けております。(未返信の方)

## お知らせ

『NPO法人空き缶基金』専用のホームページ開設について続報です。  
11月27日 開設。  
アドレスをお知らせいたします。

<http://www.npo-ubckikin.org/>



かんかん君 (イメージキャラクター)



本校の集中下足センターの横に「空き缶回収ボックス」があります。私が二島小学校に赴任してきて三年目を迎えますが、初めてそのボックスを見たときには「この学校でも取り組んでいるのだな」「うれしい思いでした。」

毎朝校門で子どもたちを迎えていると、時々小さなビニール袋を手にして登校してくる児童がいます。聞いてみると、「家にあった空き缶をもってきました。」「という答えが返ってきました。こうやって、少しずつでも、リサイクルしようという気持ちで子どもたちの中に育っていることを嬉しく思いました。

空き缶だけでなく、本校の児童が、代表委員会で話し合い、「プルタブとペットボトルキャップも集めよう」と全校に呼びかけ、取り組みをしています。学校だよりで保護者にも知らせ、空き缶を含め、保護者や地域の方も持つてきてくれます。

少しずつではありますが、環境を考える「輪」が広がってきているのを感じます。自分達が取り組んでいることが、環境にも、人にも役に立っていることを実感させていくことで、さらに活動を充実させていきたいと思っています。

北九州市立二島小学校

校長 安部 桂子

## 新たな参加団体

酒市場（くま）（小倉北区）

以上 累計：245団体



## 先月の空き缶回収量



# 21931キログラム

「協力ありがとうございました！」

## 先月のベスト3

北九州市立赤崎小学校（若松区）【4200kg】

葛原第一長寿会（小倉南区）【410kg】

坂本町2丁目老人会（小倉北区）【3200kg】

### 北九州市立藤木小学校（若松区）

平成15年から「ほいストップ運動」（通学途中に落ちているゴミを拾う活動）を年2回1週間かけて行っています。今年はいんぷるの影響で夏のみ実施。缶105本、PET32本、ごみ9kgが集まりました。現在では、運動を呼びかけずとも、自発的に行動する意識が芽生えています。



ほいストップ運動



総合学習／環境教育（稲刈り）

代々が藤木小学校卒という家庭が多く、学校への愛着が強い風土があり、「学校のためなら」という地域協力体制ができています。特に、見守り活動では、50名は下らない方達が活動中。

### 北九州市立二島小学校（若松区）

二島小学校の総合的学習では、福祉中心の教育を推進しています。3世代家庭が多いこともあり、地域住民の方々が、子どもさん達の地域活動に惜しみない協力をしてれています。反対に、地域の人のやさしさを感じながら、小学生も地域へどう貢献すべきかを考えながら学んでいます。



校舎 外観



空き缶 置き場（集中下足場）

プルタブ回収から車椅子への変換（小さな親切運動や、市民の一員として、自然や生き物など住みよい町を守るため、自分達で何ができ、どうするのかを社会科と連動して取り組んでいます。